



重要文化財になった平城宮木簡（原寸）

いずれも大膳職（食料の保管と宮内の料理を担当）推定地のゴミ捨て穴から見つかったもの。1 孝謙太上天皇がいた法華寺から、平城宮内の大膳職に小豆・醬・酢・末醬を請求する木簡。764年に起きた藤原仲麻呂の乱直前の緊迫した政治情勢下におけるもの。表面からみて左側3分の1ほどが欠けている。2 宮中のしつらえを担当した主殿寮から火種を請求する木簡。3 菜っ葉を請求する木簡。4 ウニの付札。切り込みは荷物に括り付ける紐をかけるためのもの。5・6 アラメ（海藻）の付札。7 甲斐国山梨郡（現在の甲府市周辺）から胡桃を進上する荷札。天平宝字6年は762年。8 大豆の値段を書いた削屑。9 日付の書かれた削屑。10 甲斐国山梨郡の荷札の断片。



(表)

寺請

寺請

小豆一斗

醬

一斗斗力五升

大床所

酢

末

醬

等

右四種物竹波命婦御所

三月六日

(裏)

將四種物竹波命婦御所

(表)

主殿寮請火事

主殿寮請火事

殿部力

(裏)

十二月廿二日

十二月廿二日

2

謹通 敷万呂尊所 請菜端事

謹通 敷万呂尊所 請菜端事

3